

文責 竹田 圭志

## 1学期終業式の言葉

おおよそ2ヶ月遅れでスタートした令和2年度1学期が、今日で1つの区切りを迎えます。

新型コロナウイルスの脅威と戦いながらも、大きな事故なく今日を迎えられたのは、皆さん一人一人、並びにご家族の危機管理意識のお陰だと思います。

例年当たり前だと思っていたことが、当たり前に進められず、色々な意味で辛抱の4ヶ月間だったのではないのでしょうか。皆さんが楽しみにしていた多くの行事が、中止や小規模化されました。特に3年生にとって、「中学校生活最後」という3年間の集大成の場面を失ったことは、想像を絶する喪失感だったと思います。でも、そんなそぶりを見せることなく、生徒の皆さんは、目の前の「今すべきこと」に全力で向き合ってくれました。その前向きさに先生方もどれだけ助けられてきたかわかりません。ありがとうございました。

さて、先日、7月24日は、スポーツの日でした。この日は、本来ならば東京オリンピックの開会式が実施されているはずでしたが、新型コロナウイルスの関係で1年間の延期が決まりました。この大会に照準を合わせ、日々トレーニングに励んできた選手たちの気持ちは、相当複雑だと思います。この日のテレビや新聞は、そんな選手たちの心情を大きく取り上げていました。

競泳200m・400m個人メドレーの2種目で既にオリンピック出場権を獲得している毛呂山町出身の瀬戸大也選手も例外ではありません。今年1月、好記録を連発していただけに、オリンピック延期の知らせに「喪失感で抜け殻になった」といいます。彼は、今の自分を立て直すためには思い切った『決断』が必要と考え、小学校5年生から長年指導を受けてきた梅原コーチとのコンビを解消し、指導歴がほとんどない高校時代の同級生をコーチに迎えました。理由は、「もう一度同じことをやるより、違ったアプローチの方が、『覚悟』を持って挑戦できる」というものです。水泳界には、多くのメダリストを育ててきた一流コーチ陣もたくさんいます。そんな中、瀬戸選手のようなトップ選手が本格的な指導経験のないコーチとコンビを組むことは、常識では考えられない大きな賭（かけ）だったと思います。他人から押しつけられたものではなく、瀬戸選手本人の『決断』です。相当な『覚悟』がなければできないことです。私には、ある意味、自分を追い込むために、自らの逃げ道をなくす・・・そんな、決死の『覚悟』にさえ感じられました。

皆さんは、どうでしょう。こんな時期です。「コロナが悪い。だからしょうがない。」ついつい周りのせいにしたくなりませんか。こんな時期だからこそ、自分自身で少しでもハードルを高くして、「成績を伸ばすぞ!」、「新人戦で県大会いくぞ!」、「趣味のレベルを上げるぞ!」、「本をたくさん読むぞ!」、「自由研究で賞を取るぞ!」、「昼ご飯は自分で作るぞ!」・・・。

今年の夏休みは、とても短いです。『決意』と『覚悟』がないと、何の達成感を味わうことなく終わってしまうかもしれません。

皆さんも、瀬戸選手ほどではないにしろ、自分の中で、何か自分を変えるスイッチをしっかりと押してみてください。

まだまだ、新型コロナウイルスにも注意が必要です。ぜひ、健康や安全面にも留意してください。8月24日の始業式には、達成感で目を輝かせている皆さんとお会いしたいと思っています。



## 総合的な学習の時間での取組

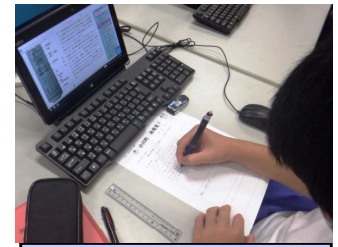
7月9日(木)の総合的な学習の時間をでは、各学年がそれぞれ工夫をこらした授業を展開しました。

1年生は、「小川町 再発見!」というテーマで、小川町の歴史的な文化遺産である「青石板碑」「下里石」について調べ学習を行いました。パソコン教室で、各自がweb検索しながら、板碑についての歴史的な意味や、なぜ青石板碑が小川町の下里地区で盛んに作られたのかなどについて調査研究しました。今後、さらに研究を進めて、青石の岩石としての特徴やどのように生成されたかなどについてまとめながら、小川町の環境の変化について学んでいく予定です。このほか、身近な職業調べなどを通して、勤労観、職業観を育む授業を実践していく予定です。

2年生は、「小川町の自然」をテーマに、「樹木」について学習を深めました。まず、樹木の写真がパズルになった、その一部(パーツ)が一人一人に手渡され、それを他の人が持つパーツと見比べ、仲間を見つけながら1枚の写真に完成させることでグループができました。その後、グループごとに完成した写真の樹木について、枝や葉の形状などの情報を図鑑や資料と照らし合わせながら樹木の品種を見つけました。今後、小川町に繁殖する樹木を調べながら、林業や里山、町の特産品である和紙づくり等にも絡めて、未来の小川町の自然環境について考えていく予定です。2学期からは、修学旅行についての学習や、「進路学習」として、上級学校調べなどを実施します。

3年生は、福祉教育の一環として、小川町社会福祉協議会の皆様を講師にお招きして認知症サポーター養成講座を実施しました。認知症のメカニズムや、認知症の人を支援する際の留意点(「三ない!認知症の人への心構え」:①驚かせない ②急がせない ③自尊心を傷つけない)や、認知症の人向けの体操などをご指導い

ただき、体験を通して多くの事を学ぶことができました。また、講座を受講した証として、全員が「埼玉県認知症サポーター証(カード)」と「オレンジリング(認知症の人とそこご家族を支援する「目印」となるブレスレット)」をいただきました。3年生の学習のもう一つ大きな柱は、「進路学習」です。今後、「福祉教育」「進路学習」と併行して、技術科の授業とも連携させながら、小川町農業の特色ある手法である有機農法について学習していく予定です。



1年生 タブレットPCを駆使して、「板碑」を調査



2年生 樹木によって、結構違いがあるんだよね。



3年生 ロールプレイ(役割演習)で、体験学習。



3年生 体操は全員で体験しました。



## 3年生 進路説明会

7月16日(木)3年生保護者の皆様にもご参会いただき、進路説明会を実施しました。

今年度は、コロナウイルスの関係で、少なからず進路関係の見通しも例年とは違ったものになってきます。情報を的確に収集し、適切に処理していくことが大切です。鈴木3学年主任(進路指導主事)の説明に、メモを真剣に取りながら耳を傾けていました。



生徒と保護者が並んだ座席。忙しい中、参加してくれた親御さんへの感謝の気持ちが大切です。

# お知らせ

埼玉県立総合教育センターのwebページ(<https://ecsweb.center.spec.ed.jp/movie>)に、主に1学期に学習した内容を動画とプリントで復習する「センター夏トレ」が掲載されています。興味がある人はチャレンジしてみてください。